

The 1st Research Conference of World Society of Disaster Nursing

第1回世界災害看護学会

会期: 2010年1月9日(土)・10日(日)



災害がつなく地球人の絆 *Disaster Knows No Borders: Human Bonding*

会場

神戸国際会議場 (神戸市中央区)

Kobe International Conference Center (Kobe, Japan)

主催

日本災害看護学会

Japan Society of Disaster Nursing

大会長

南 裕子 (近大姫路大学学長・教授)

Hiroko Minami, MPH, DNSc (University of Kindai Himeji)

※ 詳細は大会ホームページをご覧ください。随時情報を更新していきます。

<http://WSDN2010.umin.jp/>

日本災害看護学会のホームページ (<http://www.jsdn.gr.jp/>) からアクセスできます。

大会運営事務局 株式会社 インターグループ内 〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-20-1 インターG ビル
TEL : 06-6372-3051 FAX : 06-6376-2362 Email: wsdn-1st@intergroup.co.jp

【大会長の挨拶】

この度、日本災害看護学会の主催により、記念すべき第1回世界災害看護学会を神戸で開催することになりました。世界災害看護学会は7カ国（日本、中国、韓国、イギリス、タイ、インドネシア、アメリカ）40団体が加盟し、人々の災害看護の知識や実践を体系化することによって人々の健康や暮らしに貢献することを目的として2008年1月22日に神戸で発足致しました。

毎日のように、人々の生活や健康に深刻な影響をもたらす自然災害や紛争・戦争などの人為的災害のニュースを耳にします。2005年だけでも世界で1億5,700万人が自然災害の影響を受け、この多くがアジア太平洋地域で発生しました。災害はいつでも、どこでも発生します。看護職は人々の命を助け、被害から立ち直ろうとする被災者を支援する最前線にいます。看護職はまた、世界中で減災・防災、災害への備えの分野でも活躍しています。

そのような中から災害看護に関する経験や知識が蓄積され、研究やネットワーク構築も行われてきました。この第1回世界災害看護学会でそれらを共有し、新たな研究活動、ネットワークの発展へとつなげていきたいと考えています。

開催地となる神戸は、1995年に6,400人以上の犠牲者を出した阪神淡路大震災の被災地であり、1998年に日本災害看護学会が発足した地でもあります。海と山に囲まれた自然環境、異国情緒あふれる街並み、温泉など観光にも大変魅力的な街です。

本学会組織委員会を代表致しまして、是非多くの方々にご参加頂きますようお願い申し上げます。皆様にお会いできることを楽しみにしております。

南 裕子（第1回世界災害看護学会 大会長）

【大会の概要】

メインテーマ：**災害がつなぐ地球人の絆 Disaster Knows No Borders: Human Bonding**

開催目的：災害に関わる看護職や他の専門職・災害看護に関心のある人々との体験・経験の共有を通して体制と備え/減災の強化について情報交換し、ネットワークの構築を行うこと、地球上のどこでも見られる災害の現状を共有しその出来事を超えて人々の安心と安全を目指して貢献すること。

- ゴール：
1. 災害および災害看護に関する情報の国際化する。
 2. 第1回世界災害看護学会を通してヒューマニティをエンパワーする。
 3. 各国における災害看護の発展のために研究や実践を通して知識を開発し伝達する。そして、災害へ備えるシステムを整える。

【プログラム】

第1日目ー1月9日（土）9:30-17:30

- **大会長講演** [同時通訳有]
“災害看護の過去、現在、未来”
南 裕子（近大姫路大学 学長）
- **特別講演** [同時通訳有]
“新型インフルエンザ流行についてのWHOの見解”
（WHO 専門官）
- **シンポジウム** [同時通訳有]
“よりよい国際協力にむけて”
世界各地で津波、地震、サイクロン、洪水などさまざまな災害が発生している。今後の災害時のヘルスケア支援における国際協力について各演者から提言をしてもらいます。

Yuli Zang (中国、山東大学)
Kevin Davies (英国、University of Glamorgan)
- **市民公開講座** [同時通訳有]
“神戸からの発信 ～災害に負けない15年目の共同体～”
大野真喜恵（神戸市須磨区保健福祉事務部）
小池 裕（神戸市社会福祉協議会）
泥 可久（ボランティアグループほほえみ）
池田清子（神戸市看護大学）

第2日目ー1月10日（日）9:00-15:30

- **教育講演** [同時通訳有]
“災害看護教育”
Donna M. Dorsey, MS, RN, FAAN (アメリカ)
- **各国実情報告** [同時通訳有]
Hamidreza Khankeh, RN, MS, PhD (イラン)
Sri Warsini (インドネシア)
M. Ziani (モロッコ)
小原真理子（日本赤十字看護大学 教授）
- **災害看護ネットワーク** [同時通訳有]
Donna M. Dorsey, MS, RN, FAAN (アメリカ)
井伊久美子（日本看護協会）
山本あい子（兵庫県立大学）
- **パネルディスカッション** [同時通訳有]
“支援する人々のケア”
大澤智子（兵庫県こころのケアセンター）
星野誠治（神戸市消防局）
谷家誠司（神戸市中央福祉事務所）
中野則子（兵庫県立こども病院）
長瀬善雄（近大姫路大学）

両日共通プログラム

- 一般演題発表（口演/ポスター）
- フォトプレゼンテーション “災害から復興へ人々の努力”
- ナーシングサイエンスカフェ “21世紀の災害看護を担う人たち（Future Nurses）を育てる”
- E-ディフェンスでの病院振動実験の映像公開 “あなたの病院は“大地震”の時にも機能するか？”
- 展示

○印は、参加登録者以外の参加が可能なプログラムです。

注：プログラム/演者は一部変更されることがあります。

【参加登録】

オンラインでの受付は終了しています（12/15 締切）。参加ご希望の方は、当日受付でご登録ください。

通常登録	35,000 円	一般市民（専門職以外）	10,000 円
同伴者	10,000 円	懇親会（1月9日）	8,000 円
学部学生*	10,000 円		

* 学生証を提示してください。

【懇親会】

懇親会は、1月9日（土）18:00より神戸ポートピアホテルで行います。神戸の夜景を楽しみながら、世界の災害看護関係者と懇談できる機会です。ぜひ、ご参加ください。なお、懇親会費は参加登録料には含まれておりませんので、参加をご希望の方は別途8,000円が必要です。参加登録の際に合わせてお申込みください。参加定員は100名です。定員に達しましたら受付を終了いたします。

【会場案内】

神戸国際会議場

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1
TEL: 078-302-5200 URL: <http://kobe-cc.jp>

<アクセス> ポートライナー市民広場駅すぐ

□ 飛行機

関西国際空港—[リムジンバス/約70分]—三宮駅—[ポトライナー/約10分]—市民広場駅

伊丹空港—[リムジンバス/約40分]—三宮駅—[ポトライナー/約10分]—市民広場駅

□ 新幹線

JR新神戸駅——— 汐シ/約20分 ——— 神戸国際会議場

JR新神戸駅—[市営地下鉄/約2分]—三宮駅—[ポトライナー/約10分]—市民広場駅

【事務局】

◆ 学会事務局

近大姫路大学看護学部内（事務局長：岡谷恵子）
〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町2042-2

◆ 運営事務局

株式会社 インターグループ内
〒531-0072
大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル
TEL: 06-6372-3051 FAX: 06-6376-2362
Email: wsdn-1st@intergroup.co.jp

* 各種お問い合わせは運営事務局にお願いします。

【後援等】

後援：厚生労働省・文部科学省・兵庫県・神戸市
日本看護協会・日本医師会・日本集団災害医学会
（財）兵庫県国際交流協会・JICA 兵庫
（財）ひょうご震災記念21世紀研究機構人と未来防災センター
寄付：国際ソロプチミスト神戸・（社）兵庫県看護協会・
日本災害看護学会第11回年次大会
助成：中内カコンベンション振興財団・MEET IN KOBE
日本財団・ひょうご安全の日推進県民会議

